

1 開会

2 任命状伝達

- ・後日、郵送かお届けでお渡しをする。

3 校長挨拶

東部地区での勤務が初めてで土地勘も乏しいため、地域のことをまだ十分に把握できていないのが実情です。本日の学校運営協議会は、地域の皆様のお力を借りる大変貴重な場だと実感しております。沼津での勤務を機に、分校を含む学区の良さを深く知り、皆様と知恵を出し合いながら、子供たちの豊かな成長のために尽力したいと考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。

4 自己紹介(学校運営協議会委員、本校教職員)

- ・村本 幸雄様(元特別支援学校長・社会福祉法人 松の郷 理事長)

長年特別支援学校に勤務し、最後は校長を9年間務めました。退職後はコロナ禍でボランティア先が見つからない時期もありましたが、現在はご縁のあった生活介護事業所「わくら(社会福祉法人松の郷)」にて無償ボランティアをしております。法人設立時に頼まれ、肩書きのみ理事長を引き受けておりますが、沼特とは目と鼻の先の距離です。何かお力になれることがあれば幸いです。よろしくお願ひいたします。

- ・池谷 修様(社会福祉法人輝望会 相談支援事業所 サポートセンターこげら センター長)

輝望会は、50数年前にまだ沼津市に何も知的障害の方を支援するところがなく、親の会が自ら就労作業所を立ち上げたことから設立しました。40数年前に社会福祉法の認可を得まして、沼津のぞみの園という通所更生施設を西沢田に作りました。沼津養護の三谷賢一郎先生という方が初代の園長になって、13箇所の相談事業やっております。

- ・山本 幸平様(原地区連合自治会 会長)

原地区の連合自治会長です。今年でちょうど4年ということで、長いお付き合いをいただいています。また1年間よろしくお願ひします。

- ・石原 厚様(沼津市商工会 事務局長)

私は家が戸田で、今年で沼津商工会お世話になって16年目です。計算をしたら、地球を四万キロとか地球九周したということです。立場上、商工会は、事業所と学校の関係の仲立ちができればと思いますので、よろしくお願ひします。

- ・梶浦 寛美様(清水町健幸づくり課 主任)

私は、東京で精神障害者の病院に12年間勤務した後、自殺対策を志して清水町へ移住しました。障害福祉に5年間携わった後、現在は保健センターにて母子保健を担当しております。主に未就園児の発達相談や、就学に向けたサポートに尽力しております。引き続き、よろしくお願ひいたします。

- ・草谷 修一様（沼特PTA 会長）  
会長の方を1年また務めさせていただきます。沼特を福祉避難所に指定していただけたので、地域の皆様に今後とも防災の関係でも、児童生徒のためにもご協力や案、知恵をいただければと思いますので、ぜひともよろしく申し上げます。
- ・高藤禎博 先生（高等部主事）  
高等部主事2年目、本校勤務は9年目になります。これまで学年主任や進路担当など、さまざまな役割を経験してきました。多分残っている教員の中でもかなり古い方にはなるのかなと思っております。この会に参加するのは2年連続になります。
- ・山本愛花 先生（中学部主事）  
中学部の主事は2年目になります。その前に教務課長を3年やっていたので、この会は5年目になります。また、皆様のお話を聞きながら、中学部がどうしたらいいのかなどというところを考えていきたいと思っております。よろしく申し上げます。
- ・小林能美 先生（小学部主事）  
学部主事1年目、本校は7年目になります。これまでずっと小学部に所属し、学年主任や地域連携課を務めてまいりました。昨年度までは、運営協議会でのご意見を糧に、子供たちの外への交流や地域の方々を招く活動に注力してきました。今年度は、これまでの経験を学部にしっかり還元できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いたします。
- ・六車千晴 （教務課長 小学部）  
小学部に所属しています。この会に参加させていただくのは2年目になります。また、いろんなお話を聞いて、学部や学校の方に返していけたらと考えております。よろしくお願いたします。
- ・相馬博子 事務長  
事務長の相馬と申します。2年目になります。会計面でサポートをできたらなと思っております。よろしくお願いたします。
- ・井上みづほ 教頭  
今年度で2年目になります。沼津特別支援学校には縁があり、長年行ったり来たりを繰り返してきました。運営協議会を通じて、皆様が学校のためにと熱心に考えてくださる思いが年々強まっているのを感じ、大変ありがたく思っております。よろしくお願いたします。
- ・長谷川裕己 副校長  
4月から赴任しました。前任の富士宮市の小学校では、学区という枠組みの中での地域との強い結びつきを肌で感じてきました。現在は、より広い学区の中でどのように地域の方々と連携していくべきか、日々学ばせていただいております。皆様のお力添えをいただきながら努めてまいります。よろしくお願いたします。

会長・副会長の決定

会 長：村本 幸雄様

副会長：池谷 修様

## 5 校内参観（高等部→中学部→小学部）

## 6 協議（司会：村本会長）

### （1）令和8年度の学校運営計画等について

#### ア 令和8年度学校経営計画等の説明（校長）

- ・本校は沼津市、長泉町、清水町の一市二町を学区とする知的障害のこどもたちが学ぶ特別支援学校です。今年度は、小学部 89 人、中学部 55 人、高等部 94 人でスタートしています。全校の人数は 238 人となっています。昨年度と比べて 9 人増となっています。
- ・学校教育目標は、昨年度に続き「共に育てる自立と輝き」です。こどもの能力を最大限に伸ばし、自立と輝きを支援するため、「安全」「専門」「連携」「チーム」の 4 本の柱を軸に取り組んでいます。

「安全」…こどもの人権を尊重した教育の推進、命を守る体制強化と行動力の育成の二つ。特に、昨今のいろいろな事情も鑑みて、命を守るっていうところについては、重点目標としている。

「専門」…児童生徒の強みを活かし、自己肯定感を育む指導の充実、またつながりのある支援と指導の充実の 2 つ。特に児童生徒の強みを活かし、自己肯定感の部分については重点目標としている。

「連携」…一つ目は「発信と協働の充実」です。学校運営協議会による教育活動の支援や、本校の地域貢献の周知に注力します。年 4 回の協議会は、学校運営を考える上で欠かせない情報交換の場です。

また「共生社会の推進」を通じ、児童生徒が地域でより良く生きていくための土台作りを重点目標として取り組んでまいります。

「チーム」…教員の働き方や資質の向上、チームワークが含まれている。本校においては、一人一人が持ち味を生かし合い、同じ目標に向かって高め合うチームの実現を目指していく。

#### ・グラウンドデザインについて

キーワードは「つながり」です。入学前から卒業後までを見据えた 12 年間の指導のつながり、教員間や保護者、そして地域とのつながりを大切にしていきます。その中心となるのが学校運営協議会です。皆様のお知恵を借りながら、あらゆる「つながり」を充実させることで、教育目標である「共に育てる自立と輝き」の実現を目指してまいります。

#### ・ぬまっすんについて

昨年度誕生した、本校オリジナルのキャラクター「ぬまっすん」を紹介します。体は学区である一市二町のシルエットで、沼津の干物、長泉の柿、清水町の湧水をモチーフにしています。活用初年度となる今年は、教員や子供たちの自由な発想で、学習や活動のあらゆる場面に取り入れていきたいと考えています。この「ぬまっすん」と共に、全員が学校を大好きになり、自分らしく輝ける一年にしていきます。

3つの市町の場所とアジの干物と柿の場所について質問がありました。場所の変更を行いアジの干物と柿の場所が変わりました。

## イ 質疑応答

(石原様) 昨年度(令和7年度)と比べて変わった部分はどこか。

(教 頭) 特にグランドデザインの児童生徒の夢を叶えるつながり、真ん中辺りに載っていますが、「夢」という部分は今年度新たに入った部分になっています。ぬまっすんがここに入ったのも今年度からです。

(村本様) 学校経営計画のつながりという点で見ると、7年度から8年度に改善された部分、継続している部分があると、話しやすい。職員の皆さんもきっとやれたことやれなかったことを確認しておいた方がいい。

(山本様) 実現を目指して現実的にやっていただければ非常にいいと思います。

(校 長) 昨年度の成果と課題を整理し、「だから今年度はこう取り組む」という根拠を明確にすることが重要だと考えています。特に、経営計画は分量が多いと教職員が立ち返る機会が減ってしまいがちです。キーワードを絞るなどの工夫を凝らし、全員が納得感を持って日々の教育活動に落とし込めるよう、1年かけて深掘りしていきます。貴重なご意見をありがとうございます。

(教 頭) 昨年度の反省を活かし、今年度特に注力する点をお伝えします。

安全(意識改革): 児童生徒への「さん付け」の徹底。教職員の意識をより一層高めていきます。

専門(ICT活用): 生成AIを活用した個別指導計画の作成。夏休み等を利用し、教職員が一丸となって習得に励みます。

つながり: 12年間の指導のつながりを再確認し、地域との関わりの中でどう生かされているかを継続して検討します。

連携(共同学習): 子供たちの「得意な学び方」を交流先へ発信し、個に応じた共同学習を充実させます。

チーム(働き方改革): 19時15分の完全退庁を目標に掲げます。管理職からの声掛けや「アサーション」「沼特マインド」の浸透を通じ、教職員が心身ともに充実して教育にあたる環境を整えます。

(草谷様) 最近、外国籍の児童生徒が増え、多国籍化が進んでいます。子供たちは学校生活に順応していますが、課題は保護者への発信と理解です。スペイン語、ポルトガル語、中国語など、英語だけでは対応しきれない場面が増え、大切なルールや行事の周知、学校の意図を正確に伝えることに苦慮しています。親御さんも「分からないだけ」で、言葉の壁さえ解消できれば協力いただけると感じています。HPの多言語化や案内物の翻訳など、行政とも連携しながら、保護者が学校運営をしっかりと理解し、安心できるようなケアを充実させていく必要があります。

(村本様) また、グループワークの中で、学校の課題、地域の課題という視点(両者の課題)で時間を取ればと思います。

## ウ 令和8年度学校経営計画の承認⇒承認

## (2) 令和8年度の地域との学習活動について

各学部の地域等と連携による学習活動の計画について（別紙）

ア 各部主事からの説明

### 【小学部】

小学部では今年度も5つの地域との学習活動を計画しています。

- 地域交流については、原地区の方々を学校へ招き、各学年の計画に沿って一緒に活動したいと考えています。昨年度は悪天候で中止となり、高学年からの手紙を通じた「間接交流」に留まりましたが、今年度こそは対面での実施を一同楽しみにしています。
- 三島市の福祉応援大使のメンバーくんという方の読み聞かせも今年度も行いたいと思っています。各学年2、3回ほど来ていただき、本当に近い距離で、とても素敵な読み聞かせをいつもしていただいています。
- さつまいも掘り交流では、今年度も原地区の方々と1～3年が一緒に行くことを計画しています。収穫だけでなく前後の学習活動も共に行います。昨年は雨天のため収穫は断念しましたが、室内でのクラス活動を充実させ、交流を深めることができました。
- 種まき教室では、JA ふじ伊豆のご協力をいただいています。昨年度末に組織が変わり今年度は新たな組織の営農販売課さんが引き続きやってくれることになりました。小学部の4年生が冬野菜をまくということで、9月に計画をしています。
- 東レアローズとの交流は、小学部の5、6年生が毎年行っています。例年、東レアローズの体育館を訪問していますが、今年度は改修工事のため本校へお招きします。暑さ対策として、体育館での交流に加え、冷房のある教室で一緒に学習や活動を行う計画です。

### 【中学部】

中学部は、保育園児、高校生、地域の方と幅広い年齢の方と関わるというところで、地域の方に出ていきたいと思っています。

- 園芸班の花壇づくり（あしたか広域公園・原地区センター）は、熱中症対策のため6月を中止し、10・11月に集約して実施します。交流機会が減る分、新たな連携の形をご相談させてください。また、夏場の屋外作業に代わり、押し花制作や卵の殻を用いた肥料作りを本格化させます。室内で取り組める効果的な活動について、ぜひお知恵を拝借できれば幸いです。

### 【高等部】

高等部は作業学習がメインになってきます。

- 農耕班とクリーンサービス班は、地域の方々の指導を仰いでいます。特に農耕班では、深沢さんのご厚意で希少な「プチベール」の苗を特別に譲り受け、栽培・販売を行っています。現在は校内販売が中心ですが、沼津市の特産品でもあるため、今後は周知を強化しスーパーに負けない品質で校外への販路拡大も目指していきたいと考えています。
- 紙工芸班は、今年度もハニーサークルさんへの納品を継続します。また、7月10日には「イーラ de」にて職業教育展が開催されます。当日は近隣の特別支援学校各校が集結し、製品販売や作業紹介を行う貴重な機会となります。
- 1年生の「総合的な探究の時間」では、例年通り興国寺城のボランティアガイドを依頼し、地域の歴史を学びます。また、産業現場等における実習は地域・企業の協力が不可欠なため、今年度も引き続きご支援をお願いいたします。
- 交流として高等部も各交流学習を行っています。1年生が飛龍高校、2年生があしたか保育園、3年生が沼津工業高校との交流を行っています。

## イ 質疑応答

(山本様) いろいろな集まりがあり、担当する部署がみんな違うこともありまして、全体としてどういう活動と一緒にやっているのかが把握しきれていないところがあります。日程と内容について早くわかるのであれば、前もって一報いただくと全体としても構え、準備もありますので、大変かもしれませんが、できるだけ情報をいただければと思います。

### (3) 「学校運営協議会ができること」

ア 趣旨説明と協議 (別紙)

イ グループワーク

ウ 情報共有

#### ○小学部主事・教頭・山本様・池谷様・教務課長

「知っていただくこと」を最優先に、活動の成果が教職員や子供たちの達成感につながる取り組みを目指したいと考えています。具体的な案として、まずは原地区の広報誌「ふるさと」を活用した学校行事の告知が挙がりました。また、就労支援に関わる企業サポーターの方々に多角的な協力を仰ぐことや、沼津市役所の「パイン」での販売だけでなく、市民ギャラリーのような展示スペースとしての活用を相談してみてもどうか、という意見も出されました。

#### ○中学部主事・校長・村本様・草谷様

学校見学の対象をPTAだけでなく小中学校の教職員研修にまで広げてはどうかという案が出て、GW明けの校長会で校長から周知していただくことになりました。また、作品販売や展示の場を長泉町・清水町にも広げたいと考えており、今後両町との接点を作っていければと思います。

学校課題については、外国籍の家庭への対応に向け、まずは学校としてどのような支援が必要かという実態把握からスタートしていく必要がある、と話し合いました。

#### ○高等部主事・副校長・事務長・石原様・梶浦様

地域の方に知ってもらうための第一歩として、ホームページの充実やSNS・動画での学校紹介が提案されました。また、展示販売については「まずは知ってもらうこと」を優先し、各市町に沼特の特設ブースを設置してはどうかという案が出ました。沼津市はスムーズに進むと思われませんが、長泉町や清水町については県立学校としての調整事項を確認しつつ、まずは展示から始めて徐々に販売へと広げていければと考えています。

11:30 閉会